

ドアストッパー床取付用(マグネットタイプ)

<取付説明書>

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲警告 ……取付けを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 ……取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- 下記のような医用電子機器を使用されている方の操作は、しないで下さい。
(1) ペースメーカーなどの体内埋込型 (2) 人工心肺などの生命維持用 (3) 心電計などの装着型
などの各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

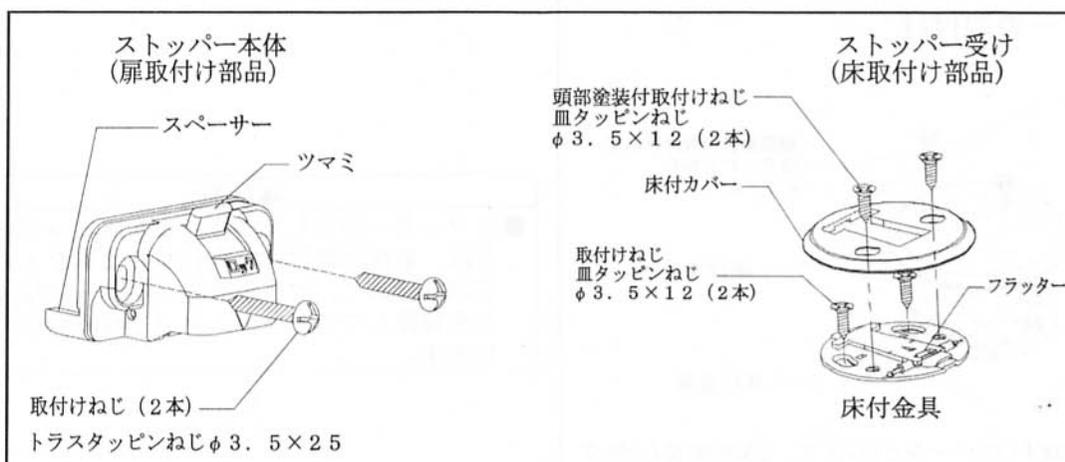
▲注意

- フラッターが立ち上がったままになっている場合は、最後に締付けた取付けねじ2本を1/4～半回転緩めて、フラッターがフリーになったことを確認してください。ケガや故障の原因になります。
- ドアを開放しておくときには、必ずストッパー本体のツマミを下げてロックをかけてください。
強風時にストッパーが作動しないおそれがあります。

■施工上のお願い

- 本製品は、木質床材専用です。じゅうたん・クッションフロア等の軟質床材への取付けはしないでください。
- ストッパー本体を取付けの際には、扉と床面の間の寸法を10～15mm(スペーサー無しの場合は4～9mm)にしてください。扉と床面の間の寸法を15mm(スペーサー無しの場合は9mm)以上にするとストッパーが作動せず、扉が通過し壁などに当たるおそれがあります。
- 床暖房システムを使用している部分では使用しないでください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- ストッパーが作動した状態で、ドア本体にもたれかかったり、引っ張ったりしないでください。
ストッパーが壊れるおそれがあります。
- 磁気商品(テープ、カード、時計、精密機器など)をストッパー本体に近づけないでください。
使用できなくなるおそれがあります。
- 床付金具にワックスをかけないでください。万一ワックスをかけた際には、ワックスをきれいに拭き取ってください。
作動不良の原因になります。
- 床付金具にホコリ・砂がかかった場合は、掃除機などで取り除いてください。
作動不良の原因になります。
- フラッターに磁気を帯びさせないでください。
作動不良の原因になります。
- 本体にお湯をこぼしたり、または暖房機器による熱風等を与えないでください。
故障の原因になります。

■部品・部材の明細

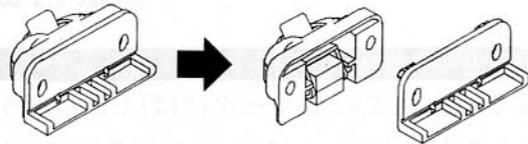


■ 取付け順序

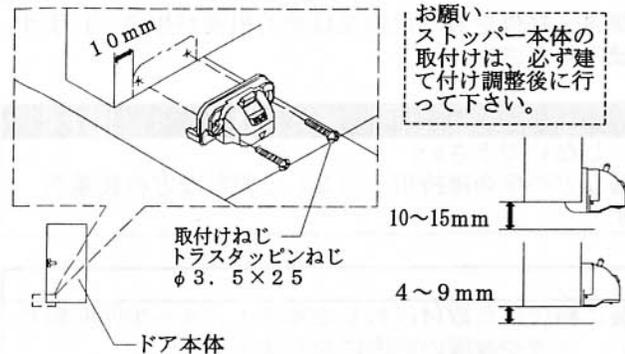
1 取付け準備

- ①扉と床面間の寸法が、4～9 mmの場合、
 ストッパー本体のスペーサーを取り外します。
 ※扉と床面間の寸法が、10～15 mmの場合、
 スペーサーを外さないでください。

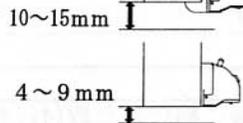
【扉と床面間の寸法が4～9 mmの場合】



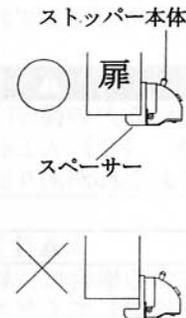
2 ストッパー本体の取付け



お願い
 ストッパー本体の
 取付けは、必ず建
 て付け調整後に行
 ってください。



【スペーサー有り】

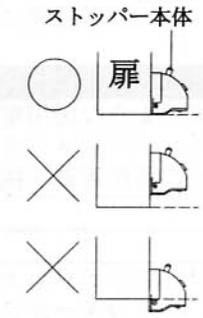


扉の底と、ストッ
 パー本体の底を合
 わせる。

扉の底と、ストッ
 パー本体の底が合
 っていない。

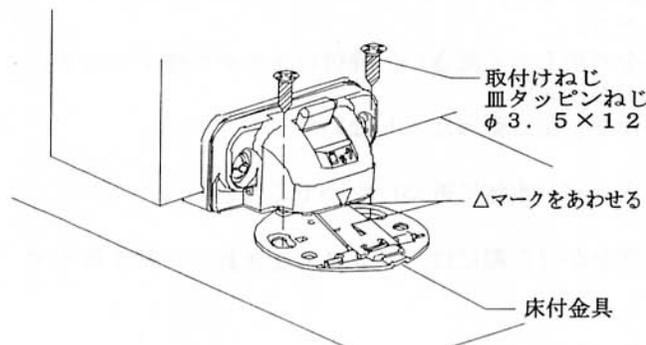
扉の底と、ストッ
 パー本体の底が合
 っていない。

【スペーサー無し】



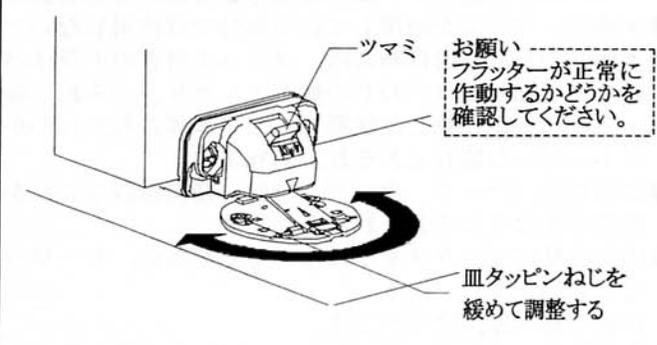
- ①ドア本体下部木口に、スペーサーを引っ掛けて位置を合わせてください。
 ※スペーサー無しの場合は、ドア本体下部木口と、ストッパー本体下部を合わせてください。
 ②ドア本体に、ストッパー本体をトラスタッピンねじφ3.5×25で取付けます。
 ※木扉の場合は、下穴(φ2.5)をあけてから取付けてください。
 ※アルミ框ドアの場合は、下穴(φ1.5)をあけてから手回しドライバーで取付けてください。

3 床付金具の取付け



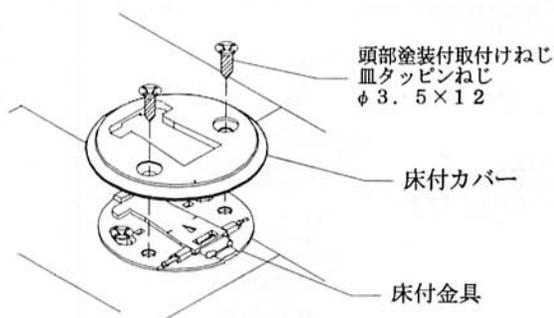
- ①床付金具とストッパー本体の△マークの位置を合
 わせて、床付金具を位置決めした床面に皿タッピンね
 じφ3.5×12で仮固定してください。
 ②正面向きに取付けていることを確認するために、ツ
 マミを下げてロックをかけてみてください。

4 作動の確認



- ①ストッパー本体が床付金具の真上にくるようにドア
 本体を開き、正常に作動するか確認してください。
 ②ツマミを下げて、ロックができることを確認してく
 ださい。
 ③正常に作動しない場合は、皿タッピンねじを緩めて
 位置を調整し本締めしてください。

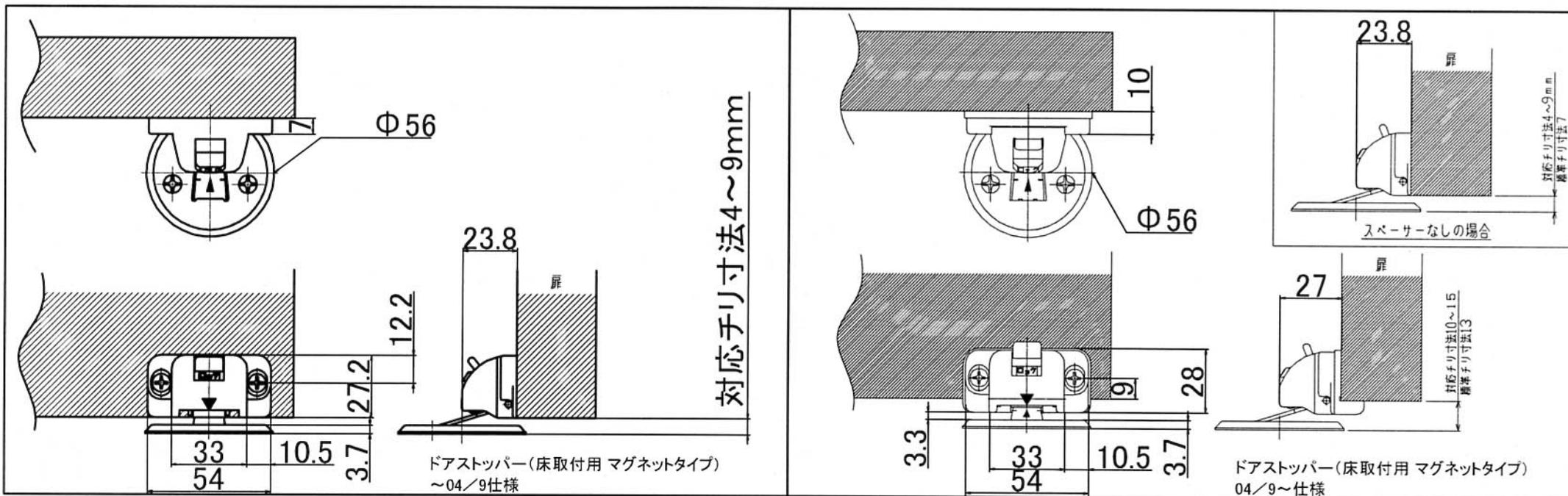
5 床付カバーの取付け



- ①床付金具に床付カバーをかぶせて、頭部塗装付皿タ
 ッピンねじφ3.5×12で固定してください。

▲ 注意

- フラッターが立ち上がったままになっている場
 合は、最後に締付けた取付ねじ2本を1/4～
 半回転緩めて、フラッターがフリーになっ
 たことを確認してください。ケガや故障の原因に
 なります。



注) 1. このドアストッパーは本体部品と受け部品にて構成される。